
現実主義のRPG

黒川ザキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

現実主義のRPG

【Nコード】

N5172BA

【作者名】

黒川ザキ

【あらすじ】

佐藤ワタルは事故によって異世界に転生した。魔王を倒す王道ファンタジーの展開となるとおもいきや、世界はなんと現実主義のRPGであった。

とある歴史研究家の手記

アスペル国は小さな島国ながら、その力は超大国。

アスペル国独自の科学力と軍事力。産業革命による蒸気船の発明に伴い、自由貿易を振興による内外政の発達。国同士争うとはせず、協力的関係を結んでいるのもその一因とも言えるだろう。

しかし、栄光なるアスペル国にもかつては暗黒時代と呼ばれる時期があった。およそ四百年前大飢饉と疫病の大流行による多くの人が死に至った。

人口減少による都市と農村での民衆暴動が頻発。かつてアスペル国の前身であったサウス王国は存続の危機に陥った。そこで当時の国王が行ったのは、魔族と呼ばれる亜人族の迫害であった。

国王は一連の飢饉と疫病の原因を魔術を得意とする魔族のせいだと宣言、宗教の主導もあいまって迫害は強まった。

ヴァンパイア族。オーガ族。エルフ族。

個々の種族が各自の国を持っていたが、迫害によって、一人の魔族魔王と呼ばれるものによって、各種族は協力し連合し、一つの国家を結成した。

ノース連合国。

二つの国同士の戦いが長き渡るものと思われた。魔族と人が手を取り合うまで……。

当時サウス王国の支配下にあったウエスト公国のノーランド公爵は、王国にも勝る軍事力と政治力をも兼ね備えていた。

何を思ったのか、ノーランド公爵は魔王との同盟を行ったのだ。この同盟を人魔同盟と呼び、新しい時代の大きな一歩となった。

人魔同盟は王国を侵略、支配するのではなく、国同士の合併を求めたのだ。国王には、王位に対する議会の優位を認めた「権利の宣言」を署名された。

つまり、国王は君臨すれど統治せず。

こうして、生まれたのがアスペル連合国である。

私が疑問に感じるのは、ノーランド公爵と魔王との人魔同盟である。ノーランド公爵は魔族に対して差別的ではなかったが、好意的でもなかった。

はたして、彼はなぜ魔族と同盟を結ぼうと思ったのか？

その謎を解くべく、私は人魔同盟にも関わったとされるエルフ族のジウ長老との面会にこぎつけた。

「人魔同盟も、権利の宣言もたった一人の男　　鷹がやったこと
であります」

ジウ長老は懐かしそうに語った。

小さな手

目が覚めたら、三歳児となっていた。というのは、語弊がある。頭をぶつけたら、前世の記憶がよみがえった。

ホーク・ロシアはベッドから上体を起こし、ぶつけた頭をなでる。腫れはしているものの、出血はなく、ただ気絶していただけらしい。

それよりも頭の中をめぐるかつての記憶が、彼を動揺させた。

深く鼻から空気を吸い込み、腹を膨らませ口から吐き出す。まずは冷静になることだ。

そうして落ち着きを取り戻したホークは気づいた。自身の人格が変わっていることに。

本来のホーク・ロシアは泣き虫の情弱であり、そこらへんにいる子供と変わらない。

だが今の彼は人格や知能までも、前世の齡二十五歳の大人に相應している。

それから導き出される答えは、一つ。

「……俺は……殺してしまったのか、小さな子供を」

本来の人格がないということは、前世の人格に飲み込まれたということだ。

つまりは、元の人格であった子供は死んだということを指す。ホークは目の前が一瞬暗くなり、息がまともにできなくなる。自分の体を抱きかかえても、震えが止まらない。

自分の罪に押し潰されそうになったとき、扉を叩く音がした。

「どうぞ」と言うが入ってきたのは、召使いだった。召使いはホークの世話をしているため、怪我の様子を見にきていた。

「大丈夫でしょうか？ ホーク坊ちゃま」

顔に陰りが出ていたのか、心配そうに召使いは心配そうに聞いている。

「……もう大丈夫だよ、ありがとう」

子供らしい笑顔でごまかすと、召使いは安堵の息をこぼす。一回頭を下げて、部屋を出ていった。

ホークは閉まる扉を見て、今度は自分の小さな手に目を移す。

「……自分はこれからどうすればいいのだろうか？」

彼の嘆きを返事してくれるものは、誰もいなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5172ba/>

現実主義のRPG

2012年1月14日17時54分発行